



飛翔

学校だより No.9
水戸市立赤塚中学校
平成25年 7月 3日

熱闘！水戸市中学校総合体育大会

運動部の3年生にとって、部活動の集大成となる水戸市総合体育大会が、6月18日(火)～21日(金)に水戸市内各地で開催され、各部が熱戦を繰り広げました。

本校は、下記のように素晴らしい結果を収め、多くの部が中央地区大会に駒を進めることができました。中央地区に出場する部には、さらに上を目指して頑張ってください。

水戸市総体結果

男子バスケットボール
決勝 66-56 水戸三中 **優勝** 〈中央へ〉

女子バスケットボール
決勝 33-37 内原中 **準優勝** 〈中央へ〉

男子ソフトテニス
〈団体〉 決勝 1-2 緑岡中 **準優勝** 〈中央へ〉
〈個人〉 **優勝** 檜山 明来・加藤木 悠
大貫 正貴・西野 勇舞
鈴木 悠介・信 好来 〈以上中央へ〉

女子ソフトテニス
〈団体〉 決勝 1-2 緑岡中 **準優勝** 〈中央へ〉
〈個人〉 **優勝** 折本 和香奈・鴨志田 瑞稀
河原井 彩・藤田 実優
加藤 菊乃・藤田 愛美 〈以上中央へ〉

卓球
〈団体〉 男子： **第3位** 女子： **第9位** 〈男女とも中央へ〉
〈個人〉 男子：シングルス **第5位** 伊勢亀 大輔、ベスト16 工藤 愛矢
ダブルス **第3位** 小林卓斗、外岡健太
女子：ダブルス **第5位** 森 綾音、山崎芽衣 〈以上中央へ〉

剣道
〈団体〉 男子： **第9位** 女子： **第5位** 〈男女とも中央へ〉
〈個人〉 男子： **第9位** 大津 卓人 〈中央へ〉

サッカー
〈敗者復活戦〉 2-1 見川中 〈順位決定戦〉 3-4 双葉台中 **第6位** 〈中央へ〉



ソフトボール
2-8 水戸三中、8-0 緑岡中 **第5位** 〈中央へ〉

軟式野球
〈1回戦〉 3-1 笠原中 〈2回戦〉 0-1 常澄中

バレーボール
〈予選リーグ〉 0-2 笠原中、0-2 水戸五中



大きな感動をもらった市総体、赤塚中の活躍

水戸市立赤塚中学校長 阿久津 聡



6/18～6/21に市総体が開催されました。結果的に、次の大会につながった部も、運悪くそうならなかった部もあります。しかし、いずれも持てる力を十分に発揮し、悔いの残らない試合が出来たと思います。その中で、特に心に残った試合を述べます。

① バスケットボール

- 男子は優勝候補(県新人準優勝)の水戸三中を破って優勝
- 女子は初戦からの接戦を勝ち抜き準優勝
- いずれも1点を争うシーソーゲームの中でも、決して表情に苦しさや焦りを出さない。至ってクールに、接戦の中、笑顔さえも。日頃の厳しい練習の賜物であろうと感じた。
- 同点、延長が繰り返された試合を勝てたのは、試合終了のホイッスルが鳴るまで決して諦めない精神力、そしてチームワークの力である。涙が出るほど感動した。

② 剣道

- 女子団体戦予選リーグ。水戸二中と対戦した。勝負は全く互角で勝敗は最後の大将戦に持ちこまれた。相手は前日の個人戦で第3位、本校選手は予選敗退。どう見ても戦前予想は相手が圧倒的に有利であった。
- しかし本校大将は、決してひるむことなく、前へ前へと打って出るなど堂々と戦った。結果、相手の大将を倒し、団体戦勝利をもたらした。決勝トーナメント出場が決定した。
- 「これまで」を打ち破ることこそ、勝負の醍醐味であると感じた一戦であった。



③ 野球

- チャンスと思ったらピンチに、しかしそのピンチがまたチャンスに変わる。
- 笠原中との初戦、0-1で迎えた6回本校の攻撃。
- 相手チームの四球やエラーなどで1-1になり、しかも一死2、3塁の絶好のチャンス。
- 監督はバッターにスクイズのサイン。しかし相手ピッチャーに外されスクイズ失敗。3塁走者は飛び出シタッチアウトで万事休すと思われた。しかし、相手キャッチャーの送球ミスで、ランナーセーフ。しかも2人とも生還した。
- 結局、これが決勝点になり、3-1で勝った。
- 一見地味に見える基本動作の完全習得こそが勝利につながると感じた。

④ テニス、サッカー、バレーボール、ソフトボール、卓球

- 共通していたのは、試合中に誰かがミスしても決して責めない点。逆に励まし合った。
- 試合の大局の中で、「今、何が必要なのか。どうしたら試合に勝てるのか」を理解していた。状況に応じた対応が素晴らしかった。

今後、陸上部や体操部を含め、県大会やそれ以上を目指せる権利を勝ち取った部は、より高い目標を目指し、質の高い練習に励んで下さい。

また、いずれは誰も部活動を引退します。そのときにこそ、部活動で学んだことを日頃の間関係や学力向上に活かすことを強く期待しています。

- ① 最後の最後まで諦めない気持ち(チャンスがピンチに、ピンチはチャンスになる)
- ② 「これまで」とらわれない気持ちをもつことが、自分の可能性を広げること
- ③ 「今の自分に何が大事か」と優先順位(プライオリティ)をつけ、実行する